

平成 24年度第 1回青森市景観審議会 会議概要

会議名	平成 24 年度第 1 回青森市景観審議会
開催日時・場所	平成 24 年 4 月 23 日（月） 13 時 30 分～17 時 00 分 青森市役所本庁舎 議会棟 4 階 第二委員会室
出席者	<p>< 青森市景観審議会委員 > 安保委員、石澤委員、板垣委員、近藤委員、斎藤委員、櫻田委員、佐々木委員、須藤委員、竹浪委員、玉熊委員、対馬委員、西塚委員、藤川委員、水尻委員、森内委員、山本委員</p> <p>< 事務局 > 都市整備部：江崎部長、工藤理事、小野次長 都市政策課：長井課長、工藤副参事、今野主幹、木村技師、中堤技師</p> <p>< 事業課 > 教育委員会学校給食課：本間課長、加福主幹、渋谷主査 （設計委託先 (株)青森スクールランチサービス：加藤、永松） 浪岡事務所都市整備課：岡山課長、館田主幹、佐藤主査、奈良主査 健康福祉部子どもしあわせ課：館山課長、奥崎副参事 子ども支援センター：高坂所長 企業局水道部整備課：我満主幹、白濱主査 浪岡事務所総務課：棟方課長、長谷川主幹 教育委員会浪岡教育事務所教育課：阿部主幹 青森地域広域消防事務組合消防本部庶務課：長谷川主幹</p>
欠席者	なし
担当課	<p>案件 1 青森市小学校給食センター等整備運営事業について 【資料 1】青森市小学校給食センター等整備運営事業資料に基づき説明。</p>
委員	来館者を楽しませるために腰壁に街並みのデザインをすることのだが、そこは実際に歩く通路なのか。歩くのであれば、デザインをもう少し上に持ってきた方が良いのではないかと。基礎の部分に模様が入っている様には見えない。
担当課	街並みデザインは、高さが 1.8m あるので子供達から見て低いものではないと認識している。
委員	食材フィルムは、仮のものか。建物がシンプルなので、ここが大きなアクセントになると思う。
担当課	写真フィルムについては、まだ仮の段階なのでこれから地元の食材等も配慮して検討していきたいと思う。

委員	デザイナーの方が入る予定はあるか。
担当課	特に入るとは無い。設計サイドでプランを考えていきたいと思う。
委員	建築とデザインは違う。せつかくのエントランスなので、本来の目的を忘れず過剰にならない様にしてほしい。
担当課	考慮する。
委員	通路を歩く人が少なく、街並みを描いた壁面は不要なのではないか。予算をかけるなら、先程のフィルムの看板のデザイナーに使った方が良いのではないか。
担当課	隣にある中学校給食センターの見学の際、2階の見学通路の窓から見える様にデザインしている。
委員	玄関が階段になっているのは、雪対策だと思われるが、雪で街並みのデザインが見えなくなってしまうという事はないか。シャッターに描いた方がまだ良いのではないか。
担当課	街並みが見える通路は、従業員が歩く事になるので、除雪はする。
委員	今の街並みのデザインとなった場合に、見学された方が汚れと認識してしまう恐れがある。そうならないようにデザインしてほしい。
担当課	検討する。
委員	植栽はやるのか。
担当課	植栽する。
委員	建物の色彩について、清潔感を表すために白色系のものを使いたいというのがコンセプトになっているようだが、冬真っ白なところに真っ白な建物があるという感じになるのではないか。雪の期間が長い場所なので少し色味があって暖色でほっとするような色の方が、無機質な工業団地の中にある建物としては良いのではないか。
担当課	真っ白ではなくグレーである。今ある中学校給食センターが白を基調とした建物で、それに隣接する建物なので同じような形、色で一体感をもたせようと思ってこういう色合いにしているので、ご理解いただきたい。
議長	いろいろ貴重なご意見をいただき、色彩についてはもう少し工夫をしたほうが良いのではないかと、デザインについても専門家を入れたほうが良いのではないかと意見があり検討いただくこととするが、大きな問題やご指摘はなかったと思うので、審議会としてはこの件については異議なしと判断する。
担当課	案件 2 浪岡湿生花園外整備事業について 【資料 2】浪岡湿生花園外整備事業（浪岡湿生花園）資料に基づき説明。

委員	サインイメージはデザイナーがしているのか。また、デザインのコンセプトは、どうなっているのか。
担当課	今はまだ設計のイメージ段階なので。デザインの統一性という面では、今後検討していきたいと思う。
委員	今までミステリアスな公園で風情があるが、整備すると逆につまらなくなるのでは。
担当課	新たに華美に整備しようということではなく、今持っているポテンシャルを光らせるような整備にしたいと考えている。
委員	既存のトイレが建ったときに景観に合わないと感じた。今できる女性専用のトイレは板張り等で造ったほうが景観にマッチすると思う。
担当課	検討する。
委員	木道が松材になっているが、腐る恐れがあるので人工木材も選択肢に入れても良いのではないか。
担当課	今のところは、自然のものということで木材を使いたいと考えている。
委員	青森県のヒバ材を使えば未処理の状態でも10年はもつと思う。
担当課	ヒバ材であれば、結構長持ちするのと思うが予算もあるので難しいと思う。
委員	湿地帯について、夏場に乾燥してしまうということだが、水の供給等も配慮したほうが景観も良くなるのではないか。
担当課	水を供給するよう整備したいと考えている。
議長	今まで出たご意見をまとめる前に、【西山公園】のご説明をいただいて意見交換した後で【浪岡の湿生花園】についてまとめる。
担当課	【資料3】浪岡湿生花園外整備事業（西山公園）資料に基づき説明。
委員	今ある展望台が暗くて怖い雰囲気なので、新たに整備する展望台はもうちょっと明るくしたほうがよいのではないか。夜にライトアップできるような建物になればと思う。
担当課	展望台については明るい雰囲気にしたいと考えている。
委員	新たに整備する展望台は既存と同じ三階建てか。
担当課	展望台は標高自体が既に高い場所にあり、展望は非常に良いものとなっている。今後、三階建てまで必要なのかも含めて検討していきたいと思う。
委員	西山公園と浪岡湿生花園と花岡公園、この三つの公園の連携というのは何か出来るものなのか。地理的には離れているか。

担当課	地理的には花岡公園と湿生花園が約 800m、湿生花園と西山公園が 1200mとなっている。
委員	今後、積極的にこの三つの公園を連携させて『足を伸ばして、あっちまで行ってみようか』と、そういう動機付けをするようなこともしたいと考えているのか。
担当課	考えている。
委員	サイクリングロードの整備は検討しないのか。
担当課	サイクリングロードを整備するとなると、土地買収等が必要になり、かなり資金的に苦しいところがある。今ある農道を利用し、サイン計画等により「ちょっと向こうに行ってみようか」という気になれるような仕掛けは考えて行きたいと考えている。
議長	いろいろ貴重なご意見をいただき、【浪岡湿生花園】の設計については、色彩や素材の選定についてはデザイナーを交えて再検討したほうがよいのではないかという意見があり、検討事項として受け止めていただくということで、他には大きな問題やご指摘はなかったと思うので、審議会としてはこの件については異議なしと判断する。 また、計画段階の【西山公園】については、明るい展望台にして欲しいということや、三つの公園をうまく結び付けて欲しいというご意見があったので今後の設計において検討していただきたい。
担当課	案件3 母子生活支援施設整備事業について 【資料4】母子生活支援施設整備事業資料に基づき説明。
委員	高さ 1.5mの塀をまわす目的は何か。
担当課	母子生活支援施設に入居する方々というのは、離婚してまもなくで住む所がない方とか、DVで追われて住む所がない方々が入居する施設となっている。本施設は入居者が、そこで生活していく中で一般的な生活が出来ていくよう支援していく施設となるが、他者がむやみやたらと入る施設ではないというのが一つある。また、敷地の周りを囲むことによって、隣近所との境界をきちんとさせるという趣旨もあり塀を設けている。高さについては、東北管内の同様の施設の塀の高さが大体平均すると 1.5mの高さになっていることから今回 1.5mに設定した。
委員	コンクリートの塀ではなく、普通のフェンスの方が良いと思う。
担当課	現時点ではコンクリート塀で考えているが、本日いただいたご意見を参考に検討したいと考えている。しかし、これまで金網のフェンスを周りに設置したが、どうしても雪で潰れてしまって維持管理に経費がかかってしま

	うため、出来れば景観を損なわない形で維持管理費もかからないようなものということで考えていきたい。
委員	現在建っている母子生活支援施設は塀で囲っているのか。
担当課	道路に面した部分が金網フェンスで囲っており、それ以外の後ろの部分についてはコンクリートブロックで囲っている。
委員	DVから逃げてきた親子を守るというのもあると思うが、かなり強い囲い込みの印象になってしまうので、生垣で考えてみたらどうか。
担当課	以前敷地内に木が立っていたが、アメリカシロヒトリが発生し、近所からの苦情もあったため木を伐採したという経緯もある。また、ランニングコストに経費をかけたくないことから、生垣ではなく、出来れば無機質のもので尚かつ景観を壊さない形のもので設置したいと考えている。
委員	緑が入居者の気持ちを潤し、安らぎを与えるので、アメリカシロヒトリの付かない木を植樹していただきたい。
担当課	囲いは別だが、植樹をしないということではない。玄関の辺りとか一定程度の緑は設ける予定にしている。
委員	現敷地は一等地であるが、他の場所、例えば金浜小学校のある場所に移す考えはないか。
担当課	この施設に入居される方々は女性相談所もしくは児童相談所に相談する機会が多いことや、この地区において施設のあり方に理解が得られていること、仕事へ通う上で公共交通機関が使い易く、この場所が適地であると考えている。
委員	先ほど、雪でフェンスが壊れるという話があったが、積雪地帯仕様のフェンスもあるので検討してほしい。
担当課	検討する。
委員	入居される方が、安心して住まわれるのが目的なのであれば、塀も仕方ないかと思う。建物の外観を温かいアイボリーにするとか、内装を板張りにするとか、入居者の方の心情を勘案しながら計画していただきたいと思う。
担当課	検討する。
議長	色々ご意見が出たが、これらを参考にして計画を進めていただきたい。
担当課	案件4 野沢3号配水池建設工事について 【資料5】野沢3号配水池建設工事資料に基づき説明。
委員	既存施設と同じく柱を水色で計画するということだが、敷地周辺は山並みが綺麗な景観なので、目立たない色、例えばホワイトグレーで計画した方

	がよいのではないか。
担当課	既存施設の水色の柱は、水をイメージしてコンセプトされたものである。3号配水池を新たに計画するにあたり、連続的な景観を創るためにも出来れば同じ色調にさせていただきと考えている。
委員	景観は10年後、20年後を見据えて考えた方が良い。今計画している施設を既存と違う色にし、今後、既存の施設の色を今計画している施設に合わせるように変えていくというやり方もある。
担当課	これから設計を発注することになるので、その時点で再度色調について、検討したい。
委員	この施設は市民の皆さんに見てもらいたい施設なのか。
担当課	そういう施設ではない。
委員	施設の周りに高い木を植え、道路から施設を見えなくするとよいのではないか。
担当課	この周辺に高い木を植えると圧迫感を感じてしまうということも考えられるため、道路の方に樹木することは今のところ考えていない。
委員	木を植えると維持管理にもお金がかかってしまう。メンテナンスをしないで枝が折れたままになるようであれば植えないほうが良いのではないか。
担当課	今後の設計の中でご意見を取り入れながら検討していきたいと考えている。
議長	色々ご意見が出たが、これらを参考にして計画を進めていただきたい。
担当課	案件5 浪岡庁舎周辺整備事業について 【資料6】浪岡庁舎周辺整備事業資料に基づき説明。
委員	浪岡庁舎と健康福祉センターはそのまま残すということだが、他の建物やサインのデザインについては既存のものに従って造っていくのか。
担当課	詳細については、これから詰めていくことになるが、現在考えているのは、既存の浪岡庁舎と健康福祉センターとのバランスを欠かないように色彩も含めてこれから考えていきたいと考えている。
委員	せっかく中心街での大規模な計画なので、何か一つ明確なビジョンを持たれて設計すると景観もよくなると思うので、是非ご検討いただきたい。
担当課	検討する。
委員	敷地周囲は塀等を設置するのか。
担当課	今現在塀がある箇所があるが、新たに塀を設置することは考えていない。
委員	敷地内の植栽も考慮して、市民が落ち着くような計画としていただきたい

	い。
担当課	検討する。
議長	色々ご意見が出たが、これらを参考にして計画を進めていただきたい。 計画段階での案件の3・4・5についていろいろなご意見、ご提案が出たが、これらを受けて設計を進めていただくこととし、特に大きい問題はなかったことから審議会としてはこれらの案件を異議なしと判断する。